

09s ChatGPTを活用したドキュメンテーション研修 生産性10倍！（作成時間5分の1・アウトプットの質2倍）

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	出島交流会館（住所：〒850-0862 長崎市出島町2-11）
・講師	福岡ソフトウェアセンター（FSC）講師：田淵 真理子
・開催月日	2025年9月10日（水）・9月11日（木）・9月12日（金）
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30（7時間/日）・3日間（21時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

2. 対象者

- ・ChatGPT未経験者
- ・ChatGPT3.5は使っていて4.0に興味のある方

3. カリキュラムの概要

このカリキュラムでは、ChatGPTを活用したプロンプトエンジニアリングを通じて、文章作成能力を向上させます。さらに、IT技術者に不可欠な文書表現やドキュメント作成のスキル、論理的思考を学びます。理論と実践を組み合わせ、現場で即戦力となるドキュメンテーション技術を身に付けることが目的です。

個人ワークに加えてグループワークを通じ、参加者同士が交流しながら、実践的な演習を進めていきます。また、ChatGPTを活用して文書の修正や追記を行うテクニックを取り入れ、効率的に文章をブラッシュアップする方法を学びます。フィードバックを通じて、自分のドキュメントの改善点を把握し、修正の手法を学ぶことで、文書化能力をさらに強化します。

このようなアプローチで、楽しく学びながら自己成長を実感できるカリキュラムです。

4. カリキュラムの詳細

3日間（21時間）

	科目	時間	科目の内容
9月10日	0. オリエンテーション	0.5h	(1)参加者自身の目的と目標設定 (2)自己紹介
	1. ChatGPTの概要と歴史	1.0h	(1)OpenAIの紹介 (2)GPTの技術的背景 (3)ChatGPTの主な特徴と利用例 (4)ChatGPTの限界と人間の役割
	2. ChatGPTの基本的な使用方法	1.0h	(1)インターフェースの紹介 (2)基本的な使い方 (3)ヒントやトリック (4)AIの文章に魂を入れる
	3. IT業界のドキュメントの大切さ	4.5h	(1)システム開発におけるドキュメントの役割 ・仕様か欠陥か ・常識か非常識か ・プロジェクトの主な失敗 (2)IT現場におけるドキュメントの種類 (3)分かりづらいドキュメントとは？ 【演習】
9月11日	4. ドキュメントの作成手順	1.5h	(1)記載事項の抽出 ・情報の洗い出し ・情報どうしの関係の整理 (2)ドキュメントの構成 ・IT技術文書の典型的な構成 ・理論性を高める構成 (3)ドキュメントの表現 【講義・演習】
	5. ドキュメントの表現	4.0h	(1)日本語の特性と分かりづらさ ・助詞（の、より、から、で） ・漢字、ひらがな、カタカナ ・長文 ・接続詞 ・主語と述語の対応 ・ねじれ文書 ・語順と句読点 ・対句 ・尊敬語と謙譲語と丁寧語 ・同音異義語 ・二重否定 ・受動態 ・表記の揺れ（同義語、類義語） ・略語 ・曖昧な表現 ・図、表、グラフ (2)文章表現のコツ 【講義・演習】
	6. 実践：ドキュメント作成の基礎	1.0h	(1)事前に用意したテーマに基づく質問の作成 (2)ChatGPTを使用して情報収集 (3)簡単なレポートの作成実習
	7. 実践：複雑なドキュメントの作成	0.5h	(1)論文やレポートの概要作成 (2)複数の情報源を組み合わせたドキュメントの作成

	科目	時間	科目の内容
9月12日	8. ChatGPTの応用例	0.5h	(1)他の分野での利用例紹介(例: プログラムのコード、画像生成、外国語翻訳等) (2)デモンストレーション
	9. グループワーク: ドキュメント作成チャレンジ	1.0h	(1)各自でChatGPTを使用して指定されたテーマに基づくドキュメントを作成 (2)作成したドキュメントへのフィードバック
	10. 個人ワークドキュメント作成	4.0h	ドキュメント作成 【演習】
	11. フィードバックとQ&Aセッション	1.0h	(1)参加者からの質問や疑問点の共有 (2)ChatGPTの使い方に関するアドバイスやヒント
	12. 研修のまとめと次のステップ	0.5h	・自己成長のための指針 (1)研修で学んだことの振り返り (2)ChatGPTを活用する上でのベストプラクティス (3)参加者のフィードバックと感想
	計	21.0Hr	

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

1. ChatGPTの限界を理解し、適切なプロンプトを使いながら、人間の力を組み合わせて、仕事に必要なドキュメントを独力で作成できるようになる。
2. 技術ドキュメントとして、過不足なく適切な情報量を盛り込むことができる。
3. 読み手を意識し、適切な用語を使い、分かりやすい構成の文章を作成できる。

7. ITSSレベル

-